

中倉山山行報告

【山行日】2019年5月30(木) 快晴

【集 合】栃木市運動公園P AM 5:30

【費 用】マイカー3台 : 2,200円

【メンバー】CL:鈴木、SL 大西、安西、大庭、岡、菊池、小松原、関、関口、田村、福島

【コースタイム】栃木市運動公園 P5:30＝銅親水公園 6:45/7:00～中倉山登山口 7:55/8:00～

1272m 地点 8:55/9:00～中倉山 9:45/9:55～

沢入山 11:05/11:45～孤高のブナ 12:40/12:50

～1272m 地点 13:10/13:20～中倉山登山口

14:10～銅親水公園 P14:50/15:00＝栃木市運動公園 P16:35



去年の同じ時季に中倉山に登り、「とても素晴らしかったので、今年も登りたい」とリクエストがあり同じコースを計画した。栃木市運動公園を5時30分に出発し、東北道から日光宇都宮道を走り日足トンネル経由で銅親水公園Pに向かった。



途中、赤倉の公衆トイレに寄り、トイレを済ませて銅親水公園駐車場に着く。準備を整え、ストレッチを済ませて出発する。駐車場から道路まで戻り、左に進むとすぐにゲートがあり、ゲートをくぐって治山工事用の林道を進む。300m位先で左折して久蔵沢を渡り、さらに500m位先で松木沢林道を右に分け仁田元沢沿いの林道を進む。水道橋を過ぎたあたりにエニシダの黄色い花が見られたが、去年沢山咲いていたジキタリスの花は見られなかった。林道を50分ほど歩き、中倉山登山口の標識がある登山口に着いた。

小休止し、衣服調整と水分を補給したら出発する。ここから山道を登るようになるが、踏み跡はしっかり付いていて、九十九折れに登り易く付けられている。かなり急坂できつい登りだが、一步一步着実に登り1時間弱で1272m地点に登り着いた。

小休止し、汗を拭ってからキーウイフルーツで喉を潤す。ここから一旦下ってから小ピークを越え中倉山へ登って行くが、ヤマツツジの花は蕾が多く去年のような見事さは無い。

それでも中倉山手前の尾根はヤマツツジが満開で、ヤマツツジの赤と新緑が青空に映え素晴らしい。ヤマツツジのトンネルを抜けると山頂への稜線に出て、男体山や半月山、松木沢の景色が広がり圧倒される。中倉山山頂に着くと360度の



の大パノラマが広がり、日光連山や皇海山、袈裟丸連峰等々の眺望に皆さん大感動。

眺望を楽しみながらデコポンをいただき、「足尾にこんな素晴らしい景色を見られる山があるんだ！」と興奮していた。ここから沢入山までは、大展望を楽しみながらの稜線散歩。途中、岩場のヤ



セ尾根はゆっくり慎重に歩き、時間が掛かったが問題なくクリア出来た。

『孤高のブナ』や『波平ピーク』など見どころも多く、雲上のスカイラインを楽しみながら歩いて行く。途中、T村さんが「調子が悪いのでここで待つ」と言うので、休憩して様子を見てO嬢と二人でゆっくり歩くことにする。沢入山に着き山頂を確認したら、その先の展望の良い場所まで行きランチタイムと

する。定番のキノコうどんを作ると2人が到着し、景色を眺めながらゆっくりランチを楽しむ。

K松原さんはこの景色がよほど気に入ったらしく、一人離れた場所で自分の世界に浸っていた。

ランチが済んだら沢入山まで戻り、山頂で記念写真を撮り下山する。下山は波平ピークまでは往路を戻り、その先から巻道を下って行く。途中、2箇所くらい難所があるが、慎重に通過すれば問題なく、稜線歩きよりも楽に下れる。孤高のブナまで来たら一旦登り、それぞれが孤高のブナを写真に収めていた。ここからも巻道を下り、去年はヤマツツジのトンネルを歩いたが、今年はまだつぼみでSさんが「去年は真っ赤で素晴らしかったのに」と残念そうにつ



ぶやいていた。巻道は岩場の難所やピークを登ることなく下れ、1272m地点まで楽に戻ることが出来る。小休止し、残っている果物をいただき、水分を補給して登山口まで下る。登山口からの林道歩きは暑くて大変だが、皆さん元気に会話が弾み、アツと言う間に銅親水公園に着いた。

靴を履き替えたら帰路につき、赤倉の公衆トイレに寄る。

帰路は粕尾峠を越えて、大越路トンネル経由で栃木市に向かい予定より早く帰着出来た。

